



ひっぴ

Junior Chamber International Shibetsu

Let's Try SDGs !!

(一社) 士別青年会議所では、SDGs (持続可能な開発目標) に取り組んでいます!!



一般社団法人
士別青年会議所
第63代理事長
鈴木春樹

2019年度 一般社団法人士別青年会議所スローガン 変革

私たち士別青年会議所は、今年度「変革」のスローガンのもと、まずは、私たち士別青年会議所会員の変革を、そして市議会議員との意見交換を行い、市へ提言することで士別市の変革の一助にと、JC運動に取り組んでまいりました。今後においても、人口減少・青年層の流失が叫ばれる中ではありますが、この現状を打破するためには私たち青年層が立ち上がらなければならない、その先に士別の「変革」がある。その信念のもと、JC運動に邁進してまいります。

また私たちはSDGs(持続可能な開発目標)にも取り組んでいます。持続可能な社会を作る上で、この地球に生きる全ての人が幸せに、誰一人取り残さない世界をつくるための17の目標のことを指します。普段生活をしている中で、このSDGsは実践されているのですが、それを可視化し何の目標に向かって取り組んでいるか明確化することが重要となります。私たちは今後とも、日本一SDGsを推進する団体として、運動に取り組んでまいります。

例会、事業紹介

第76回通常総会・新年交礼会

1月中旬、土別グランドホテルにて開催しました。

総会はメンバーの意志の統一を図ることを目的に実施し、第63代理事長に就任した鈴木春樹君は、所信を力強く表明しました。

新年交礼会は、お招きするご来賓、各地青年会議所と当会の絆を強化することも目的のひとつであり、SDGsのゴール17「パートナーシップで目標を実現しよう」にあたります。そのゴールに向けて、当日は多くの皆様と新年のあいさつを交わしながら懇談しました。冒頭で鈴木理事長は今年度のスローガン「変革」を書き初めで披露しました。



2月例会「第64回しべつ雪まつりへの参画」

2月上旬、市内の中央公園にて2日間開催されました。

土別の豪雪極寒の環境はデメリットととらえがちですが、これも立派な観光資源！持続可能な観光として、雪まつりは地域振興にもつながっています。

運営には、当会を始め市や観光協会など多くの人が関わっており、それぞれがパートナーシップを醸成する機会ともなっています。

今年、当会では子供を対象とした「雪まつり縁日」と、恒例の「国際雪ハネ選手権」を実施。天候にも恵まれ、多くの来場者で両日ともににぎわいました。



3月例会「飲みトーーーク

～土別の夏をもっと楽しく～

3月下旬に土別商工会館にて実施いたしました。

当会会員と市内青年世代の方々とのパートナーシップの醸成、つくも水郷公園を活用した地域振興の構想、住みよいまちづくりなどを目的としており、SDGsのゴールも多岐にわたっています。

市内の青年世代の方々と共に昨年リニューアルした「つくも水郷公園」についてイメージや感想など意見を交わし、「どうすれば面白くなるのか、人を呼べるのか」など改善点を話し合いました。更に「やってみたいこと」を引き出し、新しいイベントを考案するというワークショップを実施いたしました。



4月例会「目指そう！理想のリーダー像」

4月中旬、土別市生涯学習センターいぶぎにて開催いたしました。

JCプログラムの公認トレーナーをお招きし、地域社会を担う人材になるべく効果的なリーダーシップを身に着けることを目的に実施いたしました。この例会は会員の資質向上を図るものとしてSDGsのゴール4「質の高い教育をみんなに」に該当します。

当会ではこうした会員自身の資質向上を目的とした事業も行っており、それが地域社会、ひいては会員の日ごろの業務に役立つものへとつながっております。

5月例会「士別市議会との意見交換会」

5月下旬、士別商工会館にて実施いたしました。

青年層が市政に積極参画していくには、まずは市議会と関係性を構築すべき！そして、性別にとられない市政参画を目指すものとしてSDGsのゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」が含まれます。

例会では、士別市議会議員の方々から議会の仕組みや議員活動などを学んだほか、積極的に意見交換。後日、それらを元に作成した政策提言書を市へ提出しました。



6月例会「異業種交流会～知ってくださいJCを～」

6月下旬、士別グランドホテルにて開催しました。

青年世代の方々との目的意識を共有し、共に意識変革を志すには、まずはJCについて知ってもらわなければ難しいところ。併せて、同世代の若者たちと深い交流を持つことも大事です。

例会では、これまでのJCでの経験などを会員が語ることでJCとは何なのか、何をするといいのかなど、何を狙っているのかをお招きした青年たちに知っていただき、飲食を共にしながら交流を深めました。



7月例会「2019年度創立記念例会」

7月下旬、士別グランドホテルにて開催しました。

新年の挨拶から約半年、士別青年会議所シニアクラブや市関係者の皆様との絆をさらに深めるべく、上半期の報告とともに下半期に向けた熱意を表明しました。いつの時代でも、面と向かって語り合うことは人と人とのつながりを強くします。



8月例会「第44回士別天塩川まつりへの参画」

8月中旬、市内中心街のグリーンベルト、中央公園にて行われました。天塩川に感謝し、郷土愛を育む祭事として毎年開催しております。このまつりを通じて士別観光協会をはじめとした諸団体とのパートナーシップを構築・強化・拡大する機会ともなっております。

当会が企画したジュニアみこしパレードでは、市内の小中学校、幼稚園、保育園から計18基が参加。子供たちは元気に掛け声を上げて盛り上げました。またメインイベントである川舟みこしでは当日ご参加いただいた担ぎ手の方々も担ぎました。



新入会員紹介



氏名 山岡 奨
生年月日 平成3年12月15日
勤務先 北星信用金庫 士別中央営業部
趣味 サッカー、野球観戦、旅行、温泉



氏名 細川 智博
生年月日 昭和60年1月12日
勤務先 株式会社 細川商店
趣味 カラオケ

持続可能な開発目標(SDGs)とは

裕福な国もあれば貧困にあえぐ国もあり、食品ロスが増える一方で食糧難も発生する。世界は多くの問題を抱えています。SDGsは「誰一人取り残さない」「地球上のすべての人を幸せに」を合言葉に、世界が共通の目標を掲げてそれぞれが「持続可能な世界」を目指すものです。

SDGsで目的の「見える化」!

士別では年間を通してさまざまなイベント・行事が行われていますが、パッと見では「何が目的なのか」が分かりにくかったり…。そんな時、SDGsの掲げる「17の目標」が示されていれば、その事業の目指す目標が一目瞭然になります!

実は皆、もうSDGsを「やっています」!

SDGsを始めるにあたって、特に新しいことを考える必要はありません! SDGsで掲げている「17の目標」を、既存のイベント・行事に当てはめていただけ!

SDGsは「全世界共通言語」!

SDGsは国連で採択されており、全世界で推進しています。つまり、全世界の人々が目標を共有しており、どんな小さな事業でもSDGsで世界とつながっている!



JCでは率先してSDGsに取り組んでいます!

日本青年会議所は今年1月、全国の各地JC理事長の承認を持ってSDGsの推進を採択。士別JCでももちろんSDGsに取り組んでいます!

SDGsが掲げる「17のゴール(目標)」

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を實現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基礎を作ろう



10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさも守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナーシップで目標を實現しよう

もっと詳しく知りたい! という人はコチラ
⇒ <http://www.japansdgs.net/>



(一社)士別青年会議所事務局

〒095-0022

北海道士別市西2条5丁目

士別商工会館

Web <http://www.shibetsu-jc.jp/>

TEL 0165-23-2144

FAX 0165-23-1838

E-mail info@shibetsu-jc.jp



HP

Facebook

メール